

## 残暑に「汗」を考える。



お盆を過ぎて暦の上では秋ですが、  
現実には一年で最も気温が高くなる時。  
今年は全国的に広く高温傾向が予想されていて、  
厳しい残暑がまだ続きそうです。

30°Cは当たり前、35°C超えの猛暑日も多いこの時期、  
気になるのは、なんといっても「汗」ではないでしょうか。

ダラダラと顔から流れ落ちて見た目にも暑苦しいし、  
シャツの張りつきや汗ジミ、イヤなニオイ、  
あせもや肌荒れなど、「汗」の不快感や悩みはいろいろ。

どうして「汗」なんてかくの？  
つい、そんなことを考えてしまいますね。

発汗は「体温調節」のための大切な機能。  
体内の水分を放散させ、気化熱で体温を下げる仕組みです。

発汗量は人それぞれで状況によっても異なりますが、  
一般的に夏の炎天下に10分歩くと約100mlの汗をかくとか。  
激しい運動では、1時間の発汗量が2～3lに及ぶこともあるそうです。

それだけの量の水分を受けとめるのは、  
身につけた衣類や、タオル、ストールといった繊維製品。

肌に触れる繊維製品を選ぶ際は  
「汗」のことを忘れずに考慮したいですね。

かいた汗はベタベタして気持ち悪いし、  
放っておくと雑菌が繁殖してニオイを発生させたり、  
あせも・かゆみなどの肌トラブルにも。

だから、汗をサッとすばやく吸収してくれるものもいい。  
キュアテックスの和紙繊維をおすすめする所以です。

そもそもキュアテックスの和紙繊維は  
独特のハリとシャリ感があって  
サラッと爽やか、夏の肌に心地いい。

そして、かいた汗を吸い取る「吸水性」はもちろん、  
肌からモワッと蒸発する汗を吸収する「吸湿性」にも優れ、  
おまけに、内に取り込んだ水分を空気中に放散する「放湿性」も高い。  
これをまとめて「調湿性」といいます。

「調湿性」に優れた和紙繊維を使ったインナーなら  
汗をかいても、ベタつかず、ムレにくく、しかも乾きやすい。  
汗をかいても、本来のサラッとした肌触りそのまま。  
だから夏の肌におすすめなのです。

もうひとつ。

キュアテックスの和紙繊維には、  
繊維の中の無数の孔で  
ニオイの原因となる汚れや菌を吸着して離さないため  
「抗菌・消臭力」が高い、というメリットもあります。

汗をかいたあと、人に会うとき。  
一日中歩き回ったあと、靴を脱ぐとき。  
汗臭さや足のニオイの心配から解放され、  
まさにストレスフリーです。

猛暑の夏に考える、「汗」と和紙繊維の関係。  
いかがでしょうか。  
快適な毎日のお役に立てば幸いです。